

2014年11月28日

～第1位は、「兵庫県議会議員の記者会見での号泣」～
2014年「心に残った音調査」報告書

リオン株式会社

リオン株式会社(社長:井上清恆、本社:東京都国分寺市、東証1部 コード:6823)では、2014年「心に残った音調査」を実施しましたのでご報告します。

日常生活の中には、炊事・洗濯などの家庭での音をはじめ、街中での自動車や信号などの音、自然界の音、テレビ・ラジオなどから流れる音、パソコンや電子機器からの音など様々な『音』が存在しています。また、多くの方々が毎年、その年を象徴する印象深い音を共有しています。今回、当社では音を科学する企業として、2014年「心に残った音」について調査を実施しました。



対象とした音は、注意喚起音、自然音、歓声、人工音、機械音、ニュース報道の一部(声)、テレビ番組やテレビCMの効果音などです。当社内の選考委員会にて候補となる『音』(10個)を選定。一般の方1,000名に、その10音のうち、2014年の心に残った音を複数回答で質問しました。また、その他(候補の10音以外)の心に残った音と理由をフリーアンサーで記載していただきました。なお、当社では2011年に同調査を初めて実施し、今年で4回目を迎え、今後も毎年継続的に実施していく予定です。

※本調査では、流行歌や流行語、テレビCMなどでの企業名・商品名などは対象外としています。

- ・調査時期:2014年11月中旬 調査方法:インターネットを通じて実施
- ・有効回答:1,000名(20歳以上の男女各500名)

【調査結果の要約】

●2014年心に残った音の第1位は、「兵庫県議会議員の記者会見での号泣」

2014年7月、政務活動費の不自然な支出をめぐり記者会見を行った時の「兵庫県議会議員の記者会見での号泣」が第1位(54.2%)となりました。さらに「都議会のやじ問題で録音されたかすかな音声」(17.4%)が第7位となっています。

●第2位は、「テレビアニメやアニメ映画の主題歌を歌う子どもたちの声」

今年大ヒットしたアニメ映画の主題歌や、子どもたちに大人気のテレビアニメの主題歌、体操の歌などを、自宅で、街中で、映画館で、運動会などで歌う子どもたちの声選ばれました。「テレビアニメやアニメ映画の主題歌を歌う子どもたちの声」(36.6%)が第2位となりました。



●「大型台風などによる暴風雨の音」が第3位

2014年は大型台風や暴風雨に見舞われた年であったことから、「大型台風などによる暴風雨の音」(35.7%)が第3位となりました。自然現象では「6月に悪天候で、東京に雹(ひょう)が降った時の音」(6.1%)が第10位となっています。



●「全米オープンテニスなどで錦織選手へのスタジアムの応援と歓声」が第4位

ケイの名で親しまれる錦織選手は、今年全米オープンをはじめ様々な大会で大活躍しました。「全米オープンテニスなどで錦織選手へのスタジアムの応援と歓声」(30.9%)が第4位となりました。



●「ソチ五輪で日本選手のメダル獲得や活躍時の歓声」が第5位

2月に開催されたソチ五輪では、多くの日本選手がメダルを獲得しました。また惜しくもメダルにとどかなかった選手も大きな感動を与えてくれました。第5位には「ソチ五輪で日本選手のメダル獲得や活躍時の歓声」(23.9%)となりました。



●「ブラジルワールドカップの観客の歓声と落胆、悲鳴の声」が第6位

6月にブラジルで開催されたサッカーワールドカップ！日本代表の本田選手のゴールをはじめブラジルの大敗、ドイツの優勝など、スタジアムは様々な声にあふれていました。第6位には、「ブラジルワールドカップの観客の歓声と落胆、悲鳴の声」(18.7%)となりました。

●「消費増税により増えたと感じる小銭の音」が第8位

4月、消費税が5%から8%に増税されました。「消費増税により増えたと感じる小銭の音」(10.9%)が第8位となりました。

●「デング熱で気になった蚊の羽音」が第9位

8月、国内で蚊を媒介としてデング熱に感染したことが判明したことから、「デング熱で気になった蚊の羽音」(7.9%)が第9位となりました。

●その他の回答

- ・アイスバケツチャレンジで水が叩きつけられる音(男性、25歳、東京都在住)
 - …ネットのそこら中で鳴り響いていたから
- ・ノーベル賞の時のカメラのシャッター音(男性、39歳、滋賀県在住)
 - …歴史的な音だから
- ・コンビニ珈琲を入れる音(男性、37歳、山形県在住)
 - …毎回買うようになったから
- ・夏の雷の音(男性、39歳、岐阜県在住)
 - …すさまじい音で、怖かったから

Q. 2014年あなたの心に残った音をいくつかでもお選び下さい。 ※複数回答

		全国	東エリア	西エリア
1	兵庫県議会議員の記者会見での号泣	54.2%	52.0%	56.6%
2	テレビアニメやアニメ映画の主題歌を歌う子どもたちの声	36.6%	34.6%	38.8%
3	大型台風などによる暴風雨の音	35.7%	34.0%	37.5%
4	全米オープンテニスなどで錦織選手へのスタジアムの応援と歓声	30.9%	34.4%	27.0%
5	ソチ五輪で日本選手のメダル獲得や活躍時の歓声	23.9%	26.4%	21.2%
6	ブラジルワールドカップの観客の歓声と落胆、悲鳴の声	18.7%	17.8%	19.7%
7	都議会のやじ問題で録音されたかすかな音声	17.4%	18.9%	15.7%
8	消費増税により増えたと感じる小銭の音	10.9%	11.5%	10.3%
9	Deng熱で気になった蚊の羽音	7.9%	9.9%	5.7%
10	6月に悪天候で、東京に雹(ひょう)が降った時の音	6.1%	7.5%	4.6%

※東エリア(北海道、東北、関東)n=523、西エリア(中部・近畿・中四国・九州)n=477

【2014年心に残った音の詳細】

第1位 兵庫県議会議員の記者会見での号泣(54.2%)

2014年7月、政務活動費の不自然な支出をめぐる記者会見を行った時の「兵庫県議会議員の記者会見での号泣」が第1位(54.2%)となりました。東エリアより西エリアの方が4.6ポイント高くなっています。

地域	比率(実数)	順位	
全国	54.2%(542)	1位	n=1,000
東エリア(北海道・東北・関東)	52.0%(272)	1位	n=523
西エリア(中部・近畿・中四国・九州)	56.6%(270)	1位	n=477

第2位 テレビアニメやアニメ映画の主題歌を歌う子どもたちの声(36.6%)

今年大ヒットしたアニメ映画の主題歌や、子どもたちに大人気のテレビアニメの主題歌、体操の歌などを、自宅で、街中で、映画館で、運動会などで歌う子どもたちの声選ばれました。東西で比較すると、西エリアの方が4.2ポイント高くなっています。

地域	比率(実数)	順位	
全国	36.6%(366)	2位	n=1,000
東エリア(北海道・東北・関東)	34.6%(181)	2位	n=523
西エリア(中部・近畿・中四国・九州)	38.8%(185)	2位	n=477

第3位 大型台風などによる暴風雨の音(35.7%)

第3位には、「大型台風などによる暴風雨の音」(35.7%)となりました。西エリアでは第3位(37.5%)でしたが、東エリアでは第4位(34.0%)となっています。

地域	比率(実数)	順位	
全国	35.7%(357)	3位	n=1,000
東エリア(北海道・東北・関東)	34.0%(178)	4位	n=523
西エリア(中部・近畿・中四国・九州)	37.5%(179)	3位	n=477

第4位 全米オープンテニスなどで錦織選手へのスタジアムの応援と歓声(30.9%)

「全米オープンテニスなどで錦織選手へのスタジアムの応援と歓声」が第4位となりました。東エリアでは第3位(34.4%)となり、西エリアに比べて7.4ポイントも高くなっています。

地域	比率(実数)	順位	
全国	30.9%(309)	4位	n=1,000
東エリア(北海道・東北・関東)	34.4%(180)	3位	n=523
西エリア(中部・近畿・中四国・九州)	27.0%(129)	4位	n=477

第5位 ソチ五輪で日本選手のメダル獲得や活躍時の歓声(23.9%)

第5位には「ソチ五輪で日本選手のメダル獲得や活躍時の歓声」(23.9%)となりました。連日の日本選手の活躍にテレビの前で応援した方も多かったと思います。

地域	比率(実数)	順位	
全国	23.9%(239)	5位	n=1,000
東エリア(北海道・東北・関東)	26.4%(138)	5位	n=523
西エリア(中部・近畿・中四国・九州)	21.2%(101)	5位	n=477

第6位 ブラジルワールドカップの観客の歓声と落胆、悲鳴の声(18.7%)

ブラジルで開催されたサッカーワールドカップには、日本代表の選手をはじめ各国のスター選手が登場しました。「ブラジルワールドカップの観客の歓声と落胆、悲鳴の声」(18.7%)が第6位になりました。東エリアでは、第7位となっています。

地域	比率(実数)	順位	
全国	18.7%(187)	6位	n=1,000
東エリア(北海道・東北・関東)	17.8%(93)	7位	n=523
西エリア(中部・近畿・中四国・九州)	19.7%(94)	6位	n=477

第7位 都議会のやじ問題で録音されたかすかな音声(17.4%)

第7位には「都議会のやじ問題で録音されたかすかな音声」(17.4%)が入りました。聞きとりにくいやじの音が印象に残っているようです。東エリアでは、6位になっています。

地域	比率(実数)	順位	
全国	17.4%(174)	7位	n=1,000
東エリア(北海道・東北・関東)	18.9%(99)	6位	n=523
西エリア(中部・近畿・中四国・九州)	15.7%(75)	7位	n=477

第8位 消費増税により増えたと感じる小銭の音(10.9%)

4月、消費税が5%から8%に増税され、「消費増税により増えたと感じる小銭の音」(10.9%)が第8位となりました。

地域	比率(実数)	順位	
全国	10.9%(109)	8位	n=1,000
東エリア(北海道・東北・関東)	11.5%(60)	8位	n=523
西エリア(中部・近畿・中四国・九州)	10.3%(49)	8位	n=477

第9位 デング熱で気になった蚊の羽音(7.9%)

8月、東京の公園でデング熱に蚊を媒介として感染したことが判明したことから、「デング熱で気になった蚊の羽音」(7.9%)が第9位となりました。地域性から東エリアのポイントが高くなっています。

地域	比率(実数)	順位	
全国	7.9%(79)	9位	n=1,000
東エリア(北海道・東北・関東)	9.9%(52)	9位	n=523
西エリア(中部・近畿・中四国・九州)	5.7%(27)	9位	n=477

第10位 6月に悪天候で、東京に雹(ひょう)が降った時の音

「6月に悪天候で、東京に雹(ひょう)が降った時の音」(6.1%)が第10位となっています。東エリアのポイントが高くなっています。

地域	比率(実数)	順位	
全国	6.1%(61)	10位	n=1,000
東エリア(北海道・東北・関東)	7.5%(39)	10位	n=523
西エリア(中部・近畿・中四国・九州)	4.6%(22)	10位	n=477

【エリア別の2014年心に残った音】

●全国 n=1,000 ※複数回答

		実数	比率
1	兵庫県議会議員の記者会見での号泣	542	54.2%
2	テレビアニメやアニメ映画の主題歌を歌う子どもたちの声	366	36.6%
3	大型台風などによる暴風雨の音	357	35.7%
4	全米オープンテニスなどで錦織選手へのスタジアムの応援と歓声	309	30.9%
5	ソチ五輪で日本選手のメダル獲得や活躍時の歓声	239	23.9%
6	ブラジルワールドカップの観客の歓声と落胆、悲鳴の声	187	18.7%
7	都議会のやじ問題で録音されたかすかな音声	174	17.4%
8	消費増税により増えたと感じる小銭の音	109	10.9%
9	デング熱で気になった蚊の羽音	79	7.9%
10	6月に悪天候で、東京に雹(ひょう)が降った時の音	61	6.1%

●東エリア(北海道、東北、関東) n=523 ※複数回答

		実数	比率
1	兵庫県議会議員の記者会見での号泣	272	52.0%
2	テレビアニメやアニメ映画の主題歌を歌う子どもたちの声	181	34.6%
3	全米オープンテニスなどで錦織選手へのスタジアムの応援と歓声	180	34.4%
4	大型台風などによる暴風雨の音	178	34.0%
5	ソチ五輪で日本選手のメダル獲得や活躍時の歓声	138	26.4%
6	都議会のやじ問題で録音されたかすかな音声	99	18.9%
7	ブラジルワールドカップの観客の歓声と落胆、悲鳴の声	93	17.8%
8	消費増税により増えたと感じる小銭の音	60	11.5%
9	デング熱で気になった蚊の羽音	52	9.9%
10	6月に悪天候で、東京に雹(ひょう)が降った時の音	39	7.5%

●西エリア(中部・近畿・中四国・九州) n=477 ※複数回答

		実数	比率
1	兵庫県議会議員の記者会見での号泣	270	56.6%
2	テレビアニメやアニメ映画の主題歌を歌う子どもたちの声	185	38.8%
3	大型台風などによる暴風雨の音	179	37.5%
4	全米オープンテニスなどで錦織選手へのスタジアムの応援と歓声	129	27.0%
5	ソチ五輪で日本選手のメダル獲得や活躍時の歓声	101	21.2%
6	ブラジルワールドカップの観客の歓声と落胆、悲鳴の声	94	19.7%
7	都議会のやじ問題で録音されたかすかな音声	75	15.7%
8	消費増税により増えたと感じる小銭の音	49	10.3%
9	デング熱で気になった蚊の羽音	27	5.7%
10	6月に悪天候で、東京に雹(ひょう)が降った時の音	22	4.6%

【調査概要】

- ・調査時期 2014年11月中旬
- ・調査方法 インターネットを通じて実施
- ・有効回答 1,000名(20歳以上の男女各500名)

	20代	30代	40代	50代	60代以上	計
男性	100	100	100	100	100	500
女性	100	100	100	100	100	500
計	200	200	200	200	200	1,000

- ・調査地域 全国

東エリア	北海道	東北	関東	計	計
	59	60	404	523	
西エリア	中部	近畿	中四国	九州	計
	128	214	81	54	

- ・2011年「心に残った音調査」につきましては[こちら](#)をご覧ください。
- ・2012年「心に残った音調査」につきましては[こちら](#)をご覧ください。
- ・2013年「心に残った音調査」につきましては[こちら](#)をご覧ください。